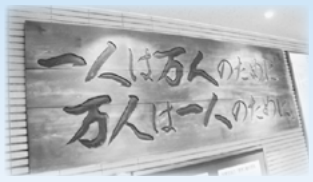


一人は万人のために
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

ふくしま医療生協

発行所
福島医療生協

2024年7･8月号 第447号
発行責任者　山口　裕
http://www.watari-hp.jp/

福島医療生活協同組合　TEL 024-522-1236　〒960-8141　福島市渡利字中江町66
医療生協わたり病院　TEL 024-521-2056　〒960-8141　福島市渡利字中江町34
生協いいの診療所　TEL 024-562-4120　〒960-1301　福島市飯野町字後川27-2
医療生協わたり病院附属ふれあいクリニックさくらみず　TEL 024-559-2664　〒960-0241　福島市笹谷字塗谷地20-1

第58回 福島医療生活協同組合 通常総代会

2024年6月22日(土)
ウィル福島アクティおろしまち

理事長あいさつ

理事長
齋藤　紀

この1年、予算達成に尽力された支部組合員さん、生協の全職員に心から感謝申し上げます。政府は本年6月11日、2024年度の日本経済「骨太の方針」原案を示しました。ここでは「全世代型社会保障」の推進をあらためて打出し、世代間分断と高齢者を中心とした社会保障の切り捨てを強調しています。他方「防衛力の抜本的強化・推進」をうたい、5年間で43兆円の大軍拡、世界第三位の軍事予算遂行をあらためて強調しました。気違いじみた暴挙です。住民から安心を奪い、医療・介護における国民負担増をいっそう強調するものでした。

私たちは、これまでにない異質の抑制の中で2023年度から第7次長期計画をスタートさせています。県北の医療連携を担い、救急、慢性疾患管理、リハビリ、緩和ケア、透析、在宅医療等を堅持し、またこれらの課題を担い、高い技能と豊かな人間性を発揮してくれる医師、看護師、職員の養成に全力を注ぎたいと思っています。これらの前進のためには、全組合員の賛同と共感が不可欠です。1969年生協創立の原点、「無差別平等の医療」を心に期して、あいさつといたします。

わたしたちの病院づくり

院長
北條　徹

昨年度は、コロナ時の補助金が次々削られ、以前の医療に戻すことに大変苦労した1年でした。経営改善に努力していますが、国の医療費削減政策の前では、限界があります。一般病床では、入院してから2週間以内なら黒字で運営できますが、14日を越えると減らされ、30日を越えると、入院費が最初に比べ1日1万円も減額されてしまいます。

私たちは、新たなる感染症に備え、洪水等自然災害にも強い病院づくりの検討(第七次長計)を開始しました。多床室が多くプライバシーが保ちにくく、時に水漏れ等が発生し、老朽化が目立つ今の建物も限界に近づきつつあります。

さらに、今年の4月から医師の働き方改革法が施行され、5月では70歳以下の医師では約半数が月に60時間を超え、それをはるかに超える長時間労働の医師もでました。原因は、医師数が少ないことです。これは、わたり病院に限らず、日本の医師数自体がOECD平均の人口10万人当たり約360人の医師数に対して、日本は約100人ほども下回っています。福島県の医師数は全国第42位で、県北地区にいたっては、医大を除くと県内6医療圏で最低の医師数なのです。

さて、私たちは、毎年2～3名入職する研修医を育てる事に日々努力しています。また、今年度からは、医局の中で総合診療チームをつくってチーム制で診療にあたる事を始めました。

日進月歩の医学医療の世界で、医療レベルを上げ、働き方改革もすすめ、新しく病院を増改築できるだけの強い経営をつくり上げていきたいと思います。何重にも困難な課題に挑戦しようとしている医療生協職員の努力を見守っていただきたく、わたくしの特別発言といたします。

福島医療生協機関紙

福島医療生協の機関紙は、QRコードを読み取ることでホームページ上でもご覧いただけます。

組合員活動部LINE紹介

日々の活動、様々な情報を紹介しています。

友だち追加はこちらから

熱中症に負けないために

わたり病院研修医
堀内（ほりうち） 雄登（ゆうと）

暑さが原因でなる病気といえば？　そう、熱中症ですね。熱中症は高温多湿な環境に長時間いることで体温調節機能が上手く働かなくなり、体内に熱がこもってしまう状態を指します。汗をかいて脱水が進行すると、臓器に血液が足らなくなり、臓器に障害が起きることがあります。また、日光に直接あたる屋外だけでなく、屋内でも熱中症になることがあります。

では、熱中症にならないためには何に気を付ければよいのでしょうか。特に大切なポイントを挙げていきます。

①扇風機やエアコンで温度調節をしましょう。湿度管理のための換気も大切です。

②こまめに水分を取りましょう。汗は電解質も失うため、塩分を含む経口補水液（ＯＳ－１）やスポーツドリンクが好ましいです。

③猛暑日や体調の優れない日は、外出を最低限に、または控えましょう。

④通気性がよく、吸湿性や速乾性に優れた衣服を着用しましょう。

⑤食事と睡眠をしっかり確保し、体力を落とさないようにしましょう。

もし、熱中症になっていそうな方や自分自身でおかしいなと感じた時には、次のポイントを注意して行動してください。

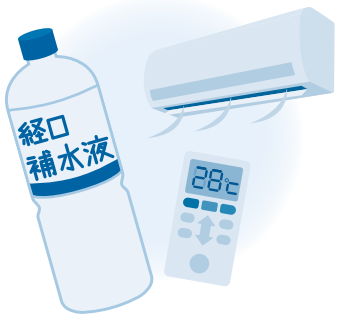
①冷所に移動し、安静にしましょう。

②冷たい物で首やわきの下を冷やしましょう。

③経口摂取が可能なら塩分と水分を摂取しましょう。

④頭痛や嘔吐、普段よりも意識がはっきりしないときには、速やかに医療機関を受診しましょう。

特にご高齢の方やお子さん、障害のある方は、体温調節機能が不十分であったり、暑さや症状を訴えられないことがあり、周囲が気付いてあげなければなりません。お互いに協力し助け合いながら、楽しい思い出にあふれた夏にしましょう！



お茶っこ会始めました

クリニックさくらみずで、患者さんと組合員さんの交流スペースをつくりました。

これからの開催日や時間はクリニックの掲示板でお知らせします。お楽しみに。

元気に楽しく 組合員活動

飯坂支部
バスハイク
（つきだて花工房）

清水北支部
お楽しみ班
（四季の里）

新班できました！

北ブロック
ウォーキング
（高子二十境）

川西支部
いってみっぺ班
（蔵王）

加齢性難聴について　後編

認知症のリスクと対応

言語聴覚士　三村 祥世

難聴は認知症の重要な危険因子の一つに挙げられます。難聴の方が、会話に苦労したり、車が近づいても気づかなかったりする等、生活の中で困難さを感じた経験はたくさんあると思います。そのため、気分の落ち込み、意欲低下、会話や交流の減少をまねき、さらには認知機能に影響を及ぼします。つまり、難聴に早期から対処し、適切な「聞こえ」を維持することは脳を活性化させます。さらにコミュニケーションを楽しむことで、様々な思考と情動を引き起こし、生活の質を高め認知症予防につながります。

加齢性難聴は、音だけでなく、言葉に対する聴力も低下することが特徴です。聞き取りやすい環境、目からの情報の活用、話し方の工夫等、『聞こえの配慮方法』を参考にしてください。大きな声がかえって聞き取りにくい場合や、話題や相手によりよく聞こえる場合もあります。また、ご自分からも「もう少しゆっくり／口元を見せて」等、相手に要望をしっかり伝えましょう。

ある患者さんは、息子さんの口調がいつも強いので、何か悪いことしたかなと気にしていたら、「大きい声で言うとこうなるんだよ」と、お互いに苦労していたことに気づき、補聴器を使うようになりました。また、ある方は「話を聞き取れないので、会話を避けるようになってしまった」と。難聴の方の胸の内をお話しいただきました。

難聴になってきたら、耳鼻科の受診も大切です。難聴の度合いや種類の診断、対処法を相談しましょう。聞こえない期間が長く続くと、聴覚機能は衰え、いざ補聴器を着けても補聴器を通した聞こえに慣れることが難しくなってしまいます。軽い難聴であっても、早期に最適な補聴器を着け始めれば、より早く慣れ効果も得られやすくなります。

聞こえ の配慮方法

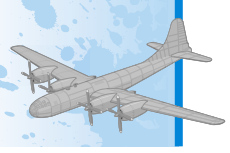
聞き取りやすい環境	静かな環境で話す（テレビや水道の音を抑える） 一対一で話す（向かい合う）
目からの情報活用	口元が見える位置で話す 筆談、指さし、ジェスチャーなども効果的
話し方を工夫	文節ごと（単語ごと）に、区切って、話す ゆっくり、少し大きめに話す 言い直し、言い換えなども効果的

一般社団法人 福島県言語聴覚士会
Fukushima Speech-language-hearing Therapists Association

戦争を考える シリーズ⑧

「戦争の狂気」

渡利支部　**諸原安夫**　1929年（昭和4年）生まれ



1941（昭和16）年12月8日。その日、日本軍がハワイの真珠湾を攻撃し、アメリカとイギリスに宣戦布告をし、太平洋戦争が始まりました。多くの日本人は、突如ラジオで、太平洋戦争の開戦を知らされました。私もその一人で、放送を鮮明に覚えています。それ以来、学校ではろくな教育を受けることができませんでした。

中学校3年生の春、大阪から川俣町の母の実家に、家族5人で戦時疎開をしてきました。長男は、海軍兵学校に入隊したため、自分が長兄の役割を担い、兄弟の世話、勤労奉仕で朝から晩まで田畑を耕しました。戦況がだんだん悪くなると、周りの若い男の人たちが召集令状（赤紙）で徴兵されていきました。私も「お国のために」と海軍航空隊を受験しました。ですが、母親から「お前に行かれたらどうしようもない」と泣かれ、回答用紙を白紙で出しました。しかし、まわりの状況が許さず再度志願をしました。

1945年（昭和20年）5月、16歳の私は、青森県の三沢海軍航空隊に、予科練習生として入隊しました。日々、戦闘機に乗るために、大きな円に掴りぐるぐる回るラート訓練や様々な体を鍛える特訓をしました。さらに、戦況が悪化し、敗戦の色が濃くなってくると、戦闘機がなく、地上で機関砲や機関銃を撃ちました。空襲では若いパイロットが、逃げる私に向かって機銃掃射してきたことを今でも忘れられません。

入隊3ヶ月、8月15日に終戦をむかえました。徴兵で集められた人たちは、すぐに除隊できましたが、私たち志願兵はできませんでした。何故かというと、軍の命令で、軍に関するすべての物を処分する仕事があったからです。基地の中、自分自身の軍服や軍服姿で撮った写真等あらゆる物すべてを焼き捨てました。そのため、私には当時のことを証明するものは何もなく、出兵する際に撮ったこの一枚の写真とお話することがすべてです。

この戦争は、「お国ため、天皇陛下に命を捧げる」ことを美徳とし、戦争によって多くの若い命が奪われました。国家が学校をつくり替え、統制・支配し、純真な子どもたちの心を国のいいようにつくり替えました。何もかもすべてを狂気にかえるそういう時代だったのです。同じ過ちは二度と繰り返してはいけないのです。

聞き手　佐藤 綾子

原水爆禁止2024年世界大会 in 広島
代表派遣決まる!

8月4日～6日に行われる世界大会に、組合員1名、職員1名の代表を派遣します。

みなさんの平和への想いを広島に届けてもらいます。みなさんからの応援のカンパをお願いいたします。

霊山支部　すずき めぐみ　**鈴木 恵さん**

庶務課　てらしま かずき　**寺島 一輝さん**

国民平和大行進

6月24日朝、わたり病院から、核兵器廃絶と平和を訴えて行進しました。

職員や組合員、関係団体、約60人が参加しました。

募　集　要　項

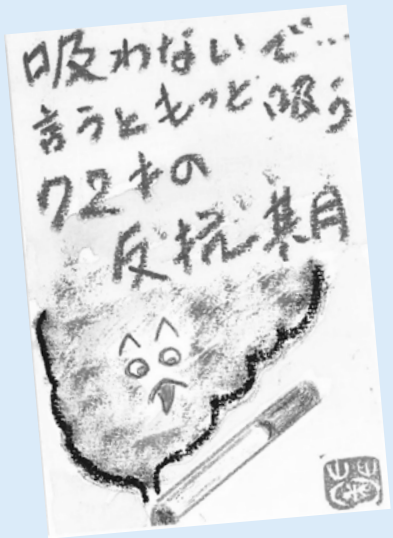
●対　　象　福島医療生活協同組合の組合員
●作品の条件　①郵便はがきサイズならなんでも可
（絵てがみもしくは川柳どちらか、おひとり1作品）
②はがきはたてよこ自由
③画材は水彩･クレヨン、ちぎり絵など自由（自作の未発表作品）
④落款印は自由（なくても可）
⑤作品の返却は不可
●応募方法　作品を郵送または直接届ける
※作品の裏面に ①住所 ②氏名 ③連絡先 を必ず記入してください
●応募窓口　福島医療生活協同組合　組合員活動部　禁煙絵てがみ･川柳応募係　宛
●応募期間　8月1日（木）～9月30日（月）
●表　　彰　入賞者へは賞状と副賞を進呈します
●作品展示　応募された作品は「コラッセふくしま」に展示します
展示期間：11月16日（土）12:00～16:00、11月17日（日）10:00～16:00
●主　　催　福島医療生活協同組合

第4回 禁煙絵てがみ・川柳コンクール 作品大募集!

～絵てがみや川柳で熱い禁煙メッセージを書いてみませんか?～

健康づくり企画のご案内

保健委員会より、2つの健康づくり企画をご案内します。
今年は「禁煙絵てがみ」のほかに「禁煙川柳」も大募集!
ぜひご応募をお待ちしています。



第3回禁煙絵手紙コンクール
禁煙エール賞
飯坂支部　菊地みな子さん

第8回 すこしおチャレンジ 参加者募集!

塩と上手におつきあい

内　　容

◆期　　間　9/2（月）～12/13（金）
9月と12月に①～③を2回測定します。
①推定塩分摂取量　②尿ナトリウム･カリウム比
③尿カリウム摂取量
◆費　　用　800円（尿検査代･資料代2回分）
※お申し込みの際にお支払いください。
◆取扱方法　詳細な案内は、ご本人へ郵送します。
※検体（尿）は、下記の期間にお持ちください。
平日9時から12時まで（時間厳守）
（1回目：9/2～9/13、2回目：12/2～12/13）
◆提 出 先　福島医療生協　組合員活動部（☎522-1236）
◆結　　果　測定結果は、毎回ご本人へ郵送します。

すこしおレシピ

＼粉ざんしょうでぐっと深い味わいに。／

こぶじめブロッコリー

材料（2人分）
ブロッコリー …… 150g
こんぶ（ぬれぶきんでよごれをふく） …… 10cm
塩 …… 少量
しょうゆ …… 小さじ1/2
粉ざんしょう ……小さじ1/4

食塩摂取量 目標値
男性 7.5g未満
女性 6.5g未満

作り方
❶ブロッコリーは小房に分け、塩少量（分量外）を加えた熱湯で30秒ほどゆでて水にとる。水けをしっかり絞って塩をふり、こんぶではさむ。ラップで包んで30分以上おく。
❷食べる直前に器に盛ってしょうゆを垂らし、粉ざんしょうをふる。

無料 法律相談会

●日　時／毎月第2木曜日
13時30分から15時30分
※日時は変更になる場合があります。
●場　所／福島医療生協わたり病院内
電話申込制　TEL.522-1236
●相談員／あぶくま法律事務所弁護士

8月の休診のお知らせ

	11(日) 山の日	12(月) 振替休日	13(火)	14(水)	15(木)	16(金)	17(土)	18(日)
わたり病院	休診	休診			休診		休診	休診
いいの診療所	休診	休診	休診	休診	休診		休診	休診
クリニックさくらみず	休診	休診			休診	休診	休診	休診

※変更になる場合があります

＼ちょっと／おすすめの本

猫のお告げは樹の下で
出版社／宝島社文庫
著／青山美智子

組合員活動部　今野（こんの）丈毅（たけき）

みなさんは〝お告げ〟と聞くと何をイメージしますか？
神様・仏様からのありがた～いお言葉でしょうか？
はたまた、何かしら不可思議な体験でしょうか？

この本では、神社にあらわれる猫の「ミクジ」がお告げをくれます。それぞれ悩みを抱えた7人の登場人物が、「ミクジ」から葉っぱに書かれたお告げをもらい、そして、導かれ、自分の道を歩んでいきます。

主人公たちの悩みも人それぞれです。失恋を引きずる若い女性、中学生の娘と仲良くなりたい父親、家族をないがしろにしたと後悔する頑固おやじ等、7人が彩るオムニバス形式です。最後は7人が交わったり、そうでなかったり。

様々な主人公に自分を重ね共感し、感情が動かされます。ミクジがくれる〝お告げ〟の意味が分かるとき、読者は心がホッとなること間違いなしです。

ちょっと息苦しさを感じている方、読書を趣味で始めようと考えている方、ぜひ本書を手に取ってみてください。抱えている何かがデトックスされるはずです。

2023年度のまとめと2024年度の方針

第58回通常総代会が、6月22日(土)「ウィル福島アクティおろしまち」にて、第1号議案から第4号議案まで全議案可決され終了しました。

専務理事
山口　裕

2023年度のまとめ

ここ数年、コロナ禍のため時間・規模を縮小した開催でしたが、今年は9時30分から14時まで、総代152名の実出席のもと、行うことができました。

今総代会では、2023年度の活動のまとめと2024年度方針を確認しました。

2024年度は、コロナ禍の中で制限されていた活動を徐々に再開し、各地域での健康ウォークやバスハイク、地域での健康まつりへの参加等、活発な活動ができた1年でした。

2023年5月に行われた「春マルシェ」では、組合員と職員が一緒になり企画を成功させました。子どもからお年寄りまで世代を超えた参加があったことも大きな成果となりました。

10回目を迎えた禁煙ポスターコンクールでは、福島医療生協の作品が日本医療福祉生協連の最優秀賞に輝き、2024年度の禁煙ポスターに採用されました。

原水禁国民平和大行進では、組合員と職員が一緒に行進することができましたし、原水禁世界大会には、組合員と職員を長崎に派遣することができました。

世界の紛争に抗議するスタンディングや2023年8月に開始したALPS処理水の海洋放出に反対するスタンディングも継続して行いました

事業面では、第7次長期計画基本構想の検討がすすめられ、これからすすめていく医療・介護の方針を確定しました。検討の中で、福島県北の医療機関・介護施設、行政等と連携して地域の医療を支えていること、予防活動から終末期医療まで幅広く、切れ目のない医療をしていること等、福島医療生協やわたり病院の良さをあらためて確認しました。それらの点をさらにすすめていき、事業の維持発展につなげていきます。

経営的には厳しい年になりました。事業収入は予算から乖離がある結果になりましたが、前年度より事業収入を5800万円伸ばし、黒字決算ができたことは、大きな成果でした。黒字決算で終えることができましたが、病院のリニューアルを具体化するまでの経営にはなっていません。そのための経営改善が2024年度の課題となります。

2024年度方針

〈組合員活動〉

①だれもが居心地よく暮らせるまちづくりをすすめます
②地域のまるごと健康づくりをすすめます
③平和で安心して暮らせる社会づくりをすすめます
④求められる活動を推進する組織づくりをすすめます
⑤組合員の事業運営への参加と、職員の医療生協活動への参加をすすめます
⑥第7次長期計画にむけたとりくみをすすめます

〈事業活動〉

①組合員・住民に寄り添い、信頼される医療・介護活動をすすめます
②福島医療生協の展望をつくりだす第7次長期計画策定をすすめます
③長期計画につながる経営基盤の構築をしていきます
④医療生協・民医連の事業と運動を担う後継者の確保と育成につとめます
⑤組合員と事業所・職員の協同、健康と平和を守り、安全・安心のまちづくりをすすめます

医療生協は、「健康をつくり、平和な社会をつくり、いのち輝く社会をつくる」ことをめざしています。2024年度もそれらの実践のため、役職員一同がんばっていきます。ご協力をお願いいたします。

新任役員

理事長（代表理事）　齋藤　紀（再）
副理事長　齋藤和衛（再）
副理事長　北條　徹（再）
専務理事（代表理事）　山口　裕（再）
常任理事　安増秀夫（再）
常任理事　斉藤章衛（再）
常任理事　佐藤克行（再）
常任理事　鈴木隆夫（再）
常任理事　八谷美知子（再）
理事　秋葉みち子（再）
理事　川崎三枝子（再）
理事　菊地みな子（再）
理事　功刀恵美子（再）
理事　紺頼純子（再）
理事　斎藤幸治（再）
理事　佐々木幹雄（再）
理事　佐藤綾子（再）

理事　佐藤かおる（再）
理事　橘　夫紀子（再）
理事　谷野通子（再）
理事　田村義雄（再）
理事　西坂　稔（再）
理事　西村由美子（再）
理事　松崎暁世（再）
理事　板橋　修（新）
理事　岩田恭子（新）
理事　紺野竜二（新）
理事　鈴木　恵（新）
理事　田積寿仁（新）
理事　田中茂子（新）
理事　山田太一（新）
監事　竹之内　長（再）
監事　皆川誠司（再）
監事　菅野眞由美（再）
監事　阿部達雄（新）

退任役員

理事　岡崎　馨
理事　佐藤あい子

理事　長谷川重範
理事　安田政彦

平和のスタンディング

総代会終了後、福島卸売市場前で、組合員・職員合わせて約130名が平和を訴えるスタンディングを行いました。

第58回 通常総代会での発言

飯坂支部
佐藤 仁子さん

新班結成

リアル野球盤を体験したのがおよそ1年半程前。回を重ねるうちに参加者も増えてきました。班長さんの名前をお借りして「みどり班」に決定!

健康体操教室

健康体操教室には人が一番集まるので、ここで健康チャレンジや、すこしおモニター、通信教育の希望者を募りました。絵手紙サークルの展示会も健康体操教室の日に同じホールで行いました。「なんでもいいよ～」と呼びかけたら、みなさんの素晴らしい作品を展示することができました。

川西支部
伊藤美知子さん

補聴器購入補助が実現したことについて

2019年より川俣町議会で補聴器購入補助を訴えてまいりました。最初は全く聞き入れてもらえませんでしたが、今は認知症予防のため、考えてもらえるようになりました。昨年の高齢者キャラバンの自治体訪問で町と懇談した際に補聴器購入助成の要望をしたことでグッと前進し、今年度実現することとなりました。

川俣支部
石河 ルイさん

組合員活動について

渡利支部では、渡利ももりん体操を毎週木曜日の午前中に行っています。毎回25人前後の組合員のみなさんが集まり、楽しく体操をしています。6/1のわたり「元気まつり」で体操サークルの仲間にお手伝いを呼びかけ、健康チェックを行いました。このサークルの仲間の協力が、これからの支部活動の大きな力となる鍵ではないでしょうか。

渡利支部
河野としえさん

達北ブロック里山ウォーキングに参加して

達北ブロックでは、里山ウォーキングで健康づくりをしようと、梁川の組合員さんのご協力をいただき3月から始まりました。季節ごと、自然が美しい里山のコースを歩きます。3月は希望の森公園の桜、4月は霊山の水芭蕉、5月は半田山自然公園のシラネアオイ。現在支部活動がない梁川地区からも毎回参加の方もあり、組合員への繋がりが広がっています。

霊山支部
菅野喜美江さん

蓬莱わいわいクラブの活動報告

わいわいクラブの活動を始めて8年になります。支援物資の仕分けや遊びの相手等のお手伝いをしています。コロナ禍の前は組合員センターの台所で、食事の支度をして、わいわいと一緒に会食していましたが、現在は弁当配布になっています。でも、感染に気を付けながら、子どもたちと一緒にクリスマスケーキや餅つき、草団子やおこわ等を作っています。これからも子どもたちが楽しく過ごせる居場所になれるよう協力していきます。

蓬莱支部
相沢恵久子さん

コロナ禍でがんばってきたこと

コロナ禍では感染防止のため面会が禁止となりました。その中で、オンライン面会や患者さんの日常の様子を動画で撮影し、ご家族に配信しました。患者さんとご家族を切り離さないために、スタッフみんなでアイデアを出し合いました。

北3階病棟看護師
幕田よし美さん

※介護部長　松崎暁世さん、医療介護相談室　渡邉浩太さんの発言は機関紙9月号に掲載予定です。

第58回通常総代会支部・班 表彰

受賞されたみなさん、おめでとうございます。

支部表彰

○優良賞

運営委員会を10回以上開催し、全国4課題のいずれかを2つ以上達成している支部
①組合員ふやし
②出資金ふやし
③担い手ふやし（5人以上または年度当初の3分の1以上）
④新班の結成（3班以上結成）

渡利支部、もちずり支部、中央支部、飯坂支部、大森永井川支部、飯野支部、川俣支部、霊山支部、川西支部

○奨励賞

特徴的な企画・催し物等で班活動を活性させ、支部活動の発展にも貢献している支部

蓬莱支部、清水南支部、杉妻支部

班 表彰

○優良賞

1. 班会を5回以上開催、組合員を10人以上または年度当初の班員以上ふやし、社保活動にも努力している班。

もちずり支部（オーロラ班）、中央支部（パセリ班）、松川支部（西郷班）、清水南支部（アマリリス班）、飯野支部（いろりばた班）、飯野支部（わかくさ班）、飯野支部（コスモス班）

2. 班会を10回以上開催、2年間以上継続している班

渡利支部（高谷班）、渡利支部（高谷ヘルシー班）、渡利支部（ココ班）、もちずり支部（ふじ班）、平野余目支部（キャッツA班）、大笹生笹谷支部（横堀班）、清水南支部（わかば班）、清水南支部（御山班）、清水南支部（らくらく班）、あづま支部（あじさい班）、川俣支部（壁沢さくら班）、川俣支部（やよい班）、霊山支部（小石田班）、霊山支部（竹ノ内班）、保原支部（いきいき班）